

第53回西高祭開催

千西一遇

平成29年7月1、2日に第53回西高祭が開催された。1日目に校内祭、2日目に一般公開が行われた。今年とは異なつて文化祭期間が2日間となつたため、それを補つたために6月30日には西高祭史上初めて前夜祭が実施された。一般公開では、各クラス趣向を凝らした企画を考案し、今年の西高祭も多くの来場客で賑わつた。各種表彰を受けた企画については裏面で紹介する。今年文化祭は大候が悪く後夜祭のファイヤーストームが心配されたが無事行うことができ文化祭を締めくくつた。



本年度の西高祭スローガン「西旅」をモチーフにしたステージバック

第47号
発行
2017年
9月1日
上田西高校
新聞委員会
代表
宮尾歩果

世界に目を向けた西高祭

今年の文化祭テーマは「世界の文化」。西高祭実行委員長の羽毛田紗恵さんは「今の時代はグローバル化が進んでいる、また西高自体が国際教育に力を入れている」とし、「それを踏まえ今よりもつ

と世界に目を向けた文化祭が出来ればいいという思いが込められている」と語つた。テーマを事前に提示することによって文化祭の方向性がある程度限定される事が狙いだ。スローガンは「西旅」。西高生全員が世界を知り、旅行へ行つたような理解を深め、さらに、一



西旅のイメージ図と(写真上)今年度の西高祭ポスター(写真下)

前夜祭

西高祭にとって初の試み

生徒の文化祭への意識高める

本年度は短縮された文化祭を補つたために前夜祭が開催された。カラオケコンテスト、男装女装コンテストの予選が行われ生徒の注目を浴びた。西高祭史上初めて行われた前夜祭のカラオケコンテストに出場した3年7組母袋桃花さん、3年8組塩川由菜さんは「とにかく楽しかったです」と笑顔で初の前夜祭で歌つた感想を語つた。前夜祭に対しては「文化祭の前日にみんなで集まることによつて、みんなの気持ちが

西高祭短縮

運営面の課題残る

来年度の文化祭の日程は未定

今年度の西高祭は3日間から2日間に短縮された。夏季休業を長くすることを目的とし夏季休業中に探究的に課題解決に取り組みステージ週間を導入した。その影響で授業日数の確保のため文化祭の日数が短縮される結果となつた。

文化祭日数短縮について桜井校長先生は「生徒会役員は新しい日程でも効果が上がるように工夫していたので素晴らしいと思つた」と役員

の労をねぎらつた。来年度の文化祭の日程については「先生たちの中で話し合い3日間なのか2日間なのかは全体のバランスを見て決めていく」と語つた。

生徒会主任の長井聡先生は文化祭期間短縮について「準備

2日間に不満「7割」

全校生徒にアンケートを実施

西高生は文化祭期間の短縮に不安や不満を漏らした。生徒会長の3年6組小須田亜美さんは「3日間から2日間になつたことで何が出来ることが考えた上での計画だったが実行するのが大変だった」と今年度の文化祭を振り返つた。

西高祭実行委員長の3年7組羽毛田紗恵さんは「3日間から2日間に短くなつて全校の不満がある中この2日間で何が出来るのか不安や焦りがあつたので大変でした」と語つた。

3年2組寸田風菜さんは「正直なところ前夜祭ではなくて3日の文化祭の方が盛り上がったと思う」と不満を漏らした。

西高祭実行委員会が文化祭後全校生徒にアンケートを行つた結果、「2日間で行われた文化祭は短いと感じた」という意見が約7割を占めていた。

フィンガーアート作成 地域の方にも努力を

今年中庭にはフィンガーアートが登場した。フィンガーアートとは人の指に絵具をつけスタンプのように用紙に押しつけていき組み立てると一つの絵が浮かび上がるといふ物。様々な人に協力してもらいた

いという思いから上田駅に役員自ら出向き地域の方にユニセフ募金とフィンガーアートの協力を募つた。最終的な完成は一般公開の開始時間には間に合わなかつたが素晴らしいものが出来上がった。生徒会役員でフィンガーアート担当の3年2組の喜多真歩さんは「2万個の指紋を押しつけてとても大変な作業でした」と話しつつも「生徒会役員や

地域の方々に協力してもらい完成出来た事にも感動しました」と語つた。その表情からは大きな企画をやり遂げた充実感が滲み出ている。

中庭ステージに設置されたフィンガーアートは「世界の文化」にちなみ国旗を表現した。



今年の西高祭の最優秀賞は、クラス屋台部門3年4組、ステージ部門3年3組、オブジェ部門3年8組であった。部活動最優秀賞ステージ部門は家庭科部、屋台オブジェ部門最優秀賞は美術部となった。惜しくも入賞には至らなかったが他にもVRを使用した企画、巨大なジェットコースターなどが登場した。3年6組は200連風揚げに挑戦した。

特集

最優秀賞受賞クラス、部活動部門紹介

担任不在の逆境乗り越え最優秀賞

クラス最優秀賞屋台部門は3年4組の「Mexican Salsa」のケサディーヤ。ケサディーヤとはメキシコの伝統料理で炒めた肉や野菜をトルティーヤで包んだもの。誰でも簡単に作ることが出来るそう。ケサディーヤを販売するクラス内の装飾もメキシコの雰囲気を出したため工夫が施されていた。味は甘口と辛口の2種類があり価格は200円。売上個数は400個で完売という人気ぶりを見せた。ルーム長の千野綾葉さんは「3年4組メキシコ料理のケサディーヤで屋台部門最優秀賞を頂くことが出来ました。最後の文化祭で4組が一生懸命に働いてくれたお陰で最高の結果が残せて本当に嬉しく思います」と笑顔で語った。一番大変だったことについて「開店準備の際、ペンを床にこぼすというハプニングがありとても焦った」と語った。その後、協力し合いなんとか予定通りにお店を開店でき良かった」と笑顔で話した。文化祭当日は強化部の一部として担任の先生が不在のなか自分達で運営していく緊張感もありクラスをまとめる使命感に燃えていたそう。千野さんは最後に3年4組に「素敵な思いでありがとう。」と語った。

担任の平井進悟先生は「企画のアイデアや作業計画も含め、生徒たちだけによる活動が中心であり、ほとんど手助けすることはありませんでした。頑張ってくれた生徒に、最優秀賞という結果が伴い嬉しく思います」と語った。



ケサディーヤを販売する3年4組の生徒

受賞団体部門

- クラス部門
屋台部門 最優秀賞 3年4組 [Mexican Salsa]
優秀賞 3年5組 [Boss Burger]
- ステージ部門
最優秀賞 3年3組 [Way of glory]
優秀賞 3年7組 [Da Daっダンシング]
- オブジェ部門
最優秀賞 3年8組 [NAKAMULABO]
優秀賞 1年7組 [Dream World]
- クラブ部門
ステージ部門 最優秀賞 家庭科部「世界の民族衣装」
優秀賞 吹奏楽部 「World Music」
- オブジェ部門
最優秀賞 美術部 [AMAZON]
優秀賞 JRC部「フィリピン医療ボランティア」

ダンボールを有効活用
クラス最優秀賞オブジェ部門は3年8組の「NAKAMULABO」。ドーム状のオブジェの中に入るとプラネタリウムが体験できる。内部には星座や星の位置が正確に施されており、完成度の高い作品となった。またドームには地球儀をイメージした装飾が



3年8組が作成したプラネタリウム 外側(写真上)と内側(写真下)

プ
ラ
ネ
タ
リ
ウ
ム
再
現
されており西高祭テーマに合ったオブジェとなった。ルーム長の片桐環(かたぎりかん)さんは「正直賞を取れるとは思わなかった。文化祭で賞を取ったのは初めてなので素直に嬉しかった」と語った。

西高祭で団結力深まる
クラス最優秀賞ステージ部門は3年3組の「Way of glory」。映像とダンスを組み合わせた工夫の見られるダンスであった。男女ともクラスTシャツの他に白と黒をベースとしたストリートファッションで統一。息のそろった

ダンスを披露し体育館内の生徒を魅了した。ルーム長の辺見駿之助さんは「最初は曲が決まらず全員がまとまりがなくなるとも大変でした」と語った。「練習を重ねていくうちにどんどん楽しくなりクラスが一つになつていくのがわかった」とクラスの団結力を感じたようだった。「文化祭本番では全員が力を全て出しきり見事最優秀賞を取ることができました。一生の思い出に残る最高の思い出になりました」と笑顔で語った。



ステージ中央に集まる3年3組の生徒



ステージを歩くモデル

家庭科部部長で3年1組小山千里さんは「今年も先生に頼り残る素晴らしいものを残すことができた」と語るとともに、「部員や出演した生徒に感謝の気持ちでいっぱい」と述べた。

家庭科部は民族衣装で世界の文化表現

泉山先生は全校を魅了

部活動最優秀賞ステージ部門は家庭科部の「世界の民族衣装」。衣装はすべて家庭科部員の手作りで、モデルは様々な国の民族衣装を身にまとって登場した。今年も家庭科部の泉山先生も中国の民族衣装チャイナドレスに身を包み登場し生徒たちを魅了した。泉山先生は「多くの生徒が恥ずかしくて出たくないという声を上げる中、皆が頑張るなら私も出る」と述べた。

部活動最優秀賞は美術部の「AMAZON」。文化祭のテーマである世界の文化を意図的に表現した。完成した作品は、色鮮やかな衣装や、民族衣装の再現など、完成度の高い作品が並び、観客の目を惹きつけた。また、「少しでも盛り上げられたらいいな」と話し、さらに「最初は迷ったが3年生と一緒にステージで楽しんでいる」と語った。



展示された美術部の作品

日本から遠く離れた地イメージ

美術部
一番うれしかった感動を分かち合いました。笑顔で話した。最高の思い出をありがとうございました。と語った。